

ようこそ東高ライブラリー

令和6年7月12日

夏休みの開館

月	火	水	木	金
			7/25	26
			×	○
29	30	31	8/1	2
○	○	○	○	○
5	6	7	8	9
○	○	×	×	×
19	20	21		
○	○	○		

開館時間 9:00から16:30

図書委員の罪

長期貸出開始

7月12日から

貸出冊数 5冊まで

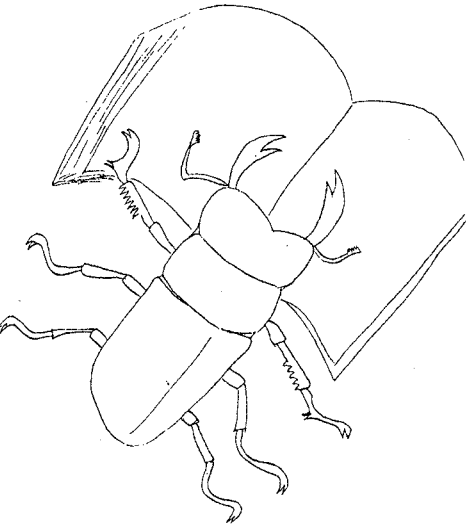
貸出期間 8月23日まで

私が紹介したい本は「今夜、世界からこの恋が消えても」です。この本は、1日ごとに記憶を失ってしまう同級生の「日野真織」と、彼女に幸せな日々を送ってほしいと支えながらも、自らも大きな秘密を隠し持っている主人公の「神谷透」。この二人が贈る儂く切ない恋愛ストーリーです。

この本を読んだきっかけは原作が映画化されたことからでした。私が好きなキヤストさんが多く、演技に惹かれて見たことがきっかけで小説も読み、より深みのある作品だと感じさせられました。

「今夜、世界からこの恋が消えても」は生きる勇気をくれたり、1日を大切にしようと思わせてくれます。ぜひ手に取って読んでみてください。

担当 1-1 安達



行スト1-5

夏休みですね。是非とも本を読みましょう。

夏休みが始まります。

いろいろな予定を立てていると思いますが、高校生ならここは本を読んでほしいところ。仙台東高校では大学へ進む生徒が多いです。

大学での勉強は高校とは違っていています。高校では小論文や課題探究が精一杯ですが、大学では論文作成になります（大学や学部によって違いはありますが・・・）。勉強の仕方から違ってくるのです。高校生の気分のままですと後で泣きをみますよ。

図書館で見えますと皆さんの取りかかりが遅い。

入試で小論文が出なくても、せめて読書習慣は高校生のうちにつけておきたいものです。1年生のうちに新聞を読む習慣をつけ、新書を1冊、2年生では最低2冊は読んでほしい。新書とは新しい本のことでありません。専門書や専門分野の入門書というくくりに入ります。大きさは18センチなので小さめです。

東高図書館では入って左手の進路コーナーと文学の棚の奥、館内南側に新書コーナーが作ってあります。毎月10冊前後の新書を受け入れていきます。

1、2年生なら進路も決まっていらないでしょうから分野は問いません。新書を読むことが大切です。新書の中には超やわらかい『Rポツポツ現代史』なんてのもあります。

3年生になったら毎日、新聞の社説を読むくらいしないと。年が過ぎて1月に入ってはじめて「小論文の書き方」を探しにくるようでは、とてもとて間に合いません。付け焼き刃では役に立たないです。

理系なら学年を問わず基本「講談社ブルーバックス」を読みましょう。

文系の1、2年生は「ちくまブリャー新書」か「岩波ジュニア新書」を。3年生はできれば「岩波新書」、「中公新書」を読みこなせるようになれば文句なしです。（昔、東北学院大のAOでは岩波ジュニア新書からの出題が多かったです。）

文系理系問わずに、難関大学を目指すなら英字新聞を読むことをおすすめします。英語科にこだわりません。小論文に限らず、大学の試験では英文の資料を読んで論じなくてはならないからです。

焦らなくても大丈夫。今なら間に合います。

学校司書 須藤美菜子

イラスト 1-5

